

必アリタルカ會社側ニ於テハ被解雇者ハ不通任有トシテ重後  
 會議ヲ控テ必置シタルモノナルシ以テ預備ニ志シ難キ旨答ハ  
 タル爲メ代表者等ハ三ノナシ午後四時四十分退出セリ  
 (ハ) 一般従業員ノ勤務

事新同盟一派ハ結束會社ノ監督採用方針ハ従業員中ノ古参者  
 ヨリ之ヲ採用スル慣例ナリレニ拘ラス其ノ慣例シテ視シ同市  
 電自給会西武支那(現在西武支那八月外消滅ノ状態トナル)  
 時以ヨリ今回ノ被解雇者大谷衛三ト対立関係ニ立テ居タル振  
 込眞喜多ヲ監督ニ採用セルハ不都合ニシテ傳宣ノ弊ニ甚クシ  
 トナレ今人ノ排斥ソ同盟ノ一部ノ目的トナレ末リタル矢先解  
 雇セシレタル爲メ振込監督等ノ解雇ヲ会社ニ通ルト共ニ被解  
 雇者ノ復職運動ヲナシツ、アルモノニシテ一般従業員モ今回  
 ノ會社ノ措置ハ徳齒ヲ欠クモノトシテ被解雇者ニ同情ヲ寄ス  
 ルモノ相當アリ因テ急速ニ罷退業等ノ舉ニ出ツルカ如キ状勢  
 ナキニ成行注意中  
 右及中(通)水信也

勞務第六三七八號

昭和五年七月二十五日 警視總監 丸山 鶴吉

5. 7. 28  
 1464

内務大臣 安達 謙藏 殿  
 社會局長 官 殿  
 各廳 府 縣 長 官 殿

此處ニ係リテ被解雇者ノ指  
 三ノ字生利者有之

西武鐵道株式會社従業員解雇ニ伴フ紛議ニ関スル件 第二報

従業員側ハ連日復職運動多シク爲シ居ルニ會社側ニ於テハ罷退業化廣ナシト見込メ下ニ之ヲ拒

否シ能度強硬ナリ

一般従業員ハ平常通勤中

既報標記會社ニ於ケル従業員解雇ニ伴フ紛議ニ関スル其後ノ状  
 勢左記ノ通ニ有之

記